

『きもの』文化の伝承と発信のための 教育プログラムの開発 「きもの」の着装を含む体験学習と海外への発信

The development of education program for the cultural folklore
and for the transmission of “Kimono” culture
-Learning experience of how to wear a “Kimono”
- and transmission to foreign countries-

プロジェクトメンバー

横浜国立大学・教育人間科学部・教授

埼玉大学・教育学部・教授

横浜国立大学・教育人間科学部・教授

茨城キリスト教大学・生活科学部・准教授

山梨県立大学・人間福祉学部・教授

大妻女子大学・短期大学部・教授

薩本弥生

川端博子

堀内かおる

扇澤美千子

斎藤秀子

呑山委佐子

Yayoi Satsumoto (Head of the Project)
(Yokohama National University)

Hiroko Kawabata (Co-researcher)
(Saitama University)

Kaoru Horiuchi (Co-researcher)
(Yokohama National University)

Michiko Ougizawa (Co-researcher)
(Ibaraki Christian University)

Hideko Saito (Co-researcher)
(Yamanashi Prefectural University)

Isako Nomiyama (Co-researcher)
(Otsuma Women's University)

1. 研究の目的

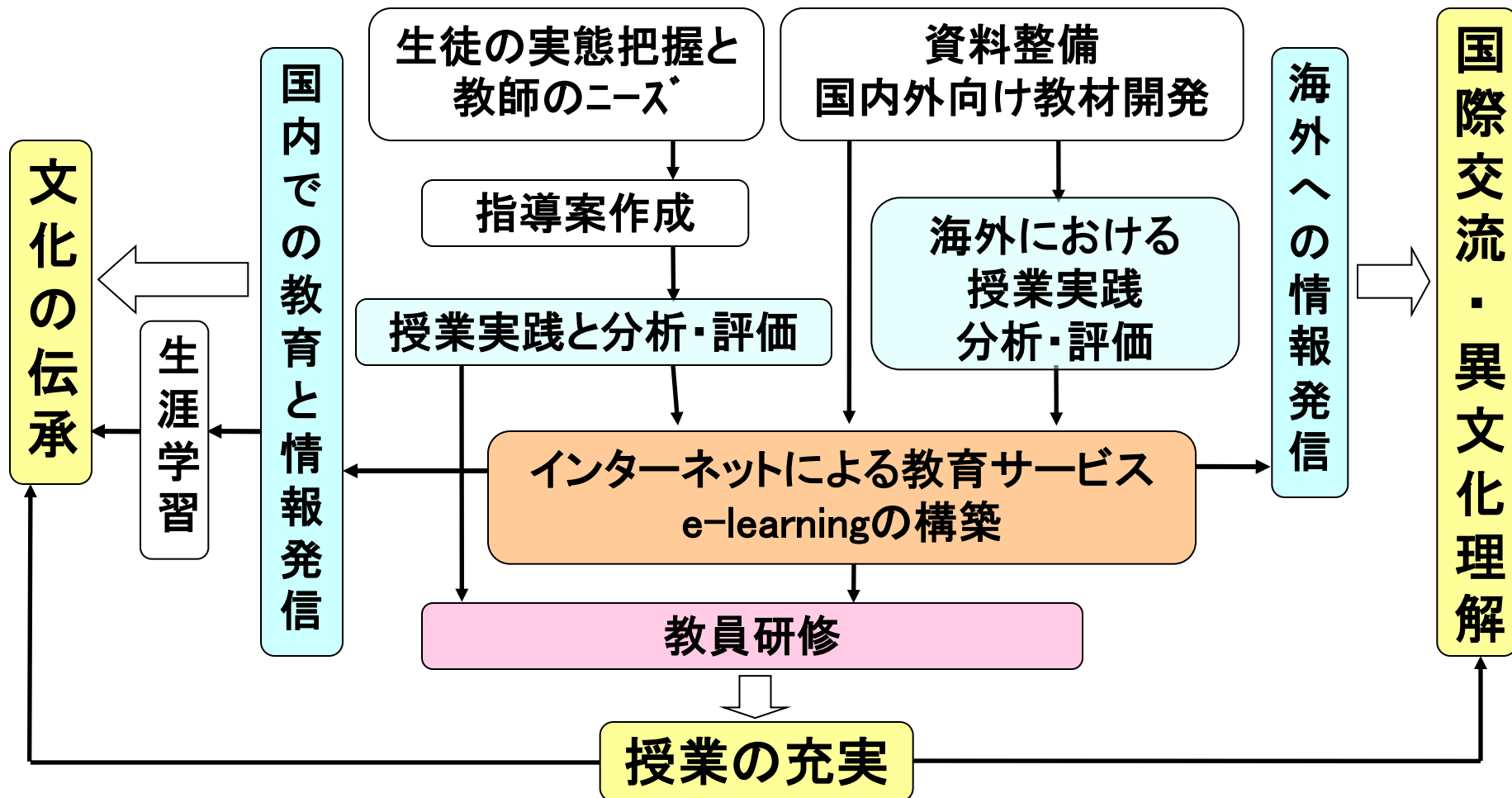
本研究の目的は、日本の「きもの」文化を次世代に伝承すること、世界へ発信することを意図して、教育プログラムの開発と授業支援を行うことである。

新学習指導要領においても伝統や文化に関する教育の充実が求められている。本研究では家庭科の「きもの」着装による体験学習を通して、子どもたちの心に日本の「きもの」文化を尊重し継承・発展させようとする芽を育てていく。

また、グローバル化に対応し、「きもの」を通じた日本理解と文化交流の促進に貢献していく。

2. 研究の概要

- 「きもの」文化の伝承と発信のための教育プログラム・教材(DVD等)の開発
- 国内・海外での教育環境の整備 と授業実践・インターネットによる教育サービスの構築
- 本教育プログラムを題材とする教員研修の実施



3.授業用の教材作成の概要



- 着装および畳み方ビデオ作成
- (日本語版、英語版、中国語版)

- ゆかたがわかるテキスト教材作成
- (日本語版、英語版)

- ゆかたがわかるE-learning用ウェブ教材作成

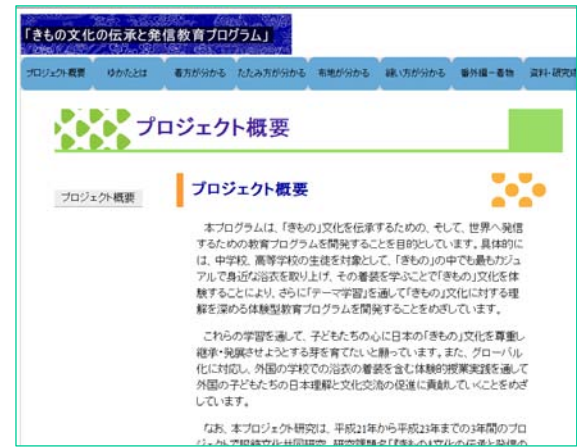


DVD教材

英語版テキスト教材

男女ひとえ長着(浴衣)の着装・たたみ方のDVDを作成(日本語版、英語版、中国語版)、浴衣の文化についてテーマ学習の教材を作成(日本語版、英語版)、さらにウェブ上の着装e-learning教材も作成した。DVDの作成・編集は、大妻女子大学総合情報センターメディア教育開発センターで実施。テキスト教材は、メンバーの呑山氏・斉藤氏が編集。ウェブ教材は、それらを元に編集した。e-learningサイトは以下のURL

<http://kimono-bunka.ynu.ac.jp>



web教材のtop page

4. 日本での授業研究の3年間の実施状況

3年間を通じて、以下の協力校で授業実践研究を行った。授業のねらいを徐々に明確にし、浴衣の着装体験学習のやり方についても3年間の実践を通じて、効果的な方法が考案されてきた。3年目はテキスト教材も充実し、より効果的な授業実践ができ、教育プログラムのマスタープランが整えられた。

- 平成21年度
 - 横浜国立大学附属横浜中学校(選択)2時間



ペアで着つけ



- 平成22年度
 - 千葉県立流山南高等学校(1年生)2~4時間
 - 私立吉祥女子高等学校(2年生)4時間
 - 私立洗足学園中学校(2年生)4時間
 - 横浜国立大学附属鎌倉中学校(選択)2時間
 - 川崎市立K中学校(2年生)2時間



←帯結びだけ先に練習

- 平成23年度
 - 横浜国立大学附属横浜中学校(1, 2年生)2~3時間
 - 横浜国立大学附属鎌倉中学校(2年生)3時間
 - 埼玉大学附属中学校(2年生)4時間
 - 千葉県立流山南高等学校(1年生)2~4時間



たたみ方演示

22・23年度には、教員対象に着付けときもの良さを体験するなど、各種講習を開催した。



七夕に浴衣で短冊を書く

5. 海外での授業研究に浴衣着装ワークショップ

日本の伝統文化の一つである「きもの」文化を海外へ発信するための教育プログラムを開発することを目指し、3年間にわたってイギリス、中国の社会人、大学生、中学生を対象に浴衣の着装ワークショップを行った。①日本の伝統文化に関するアンケート後、②着装ビデオ視聴・実演後に浴衣の着装体験 ③着装後の着装感についてのアンケートを実施。

2009年
度

- 英国のLoughboroughで現地の大学生および社会人対象に実施
日本人会関係者とLoughborough大学Design& Technology Departmentの大学院生

2010年
度

- 中国の上海で社会人対象:上海領事館共催で日本文化サロン「人文雅集－益田屋」にて
- 英国のBurton on Trentで中学生対象に実施:Blessed Robert Sutton Schoolにて

2011年
度

- 英国のLoughboroughで大学生(大学院生)対象に実施
- 英国のBurton on Trentで中学生対象に実施:Blessed Robert Sutton Schoolにて



6. プロジェクトの成果および今後の計画

これまでの実践により以下の成果が得られた。今後、さらに研究成果の発表、授業実践集作成を予定している。

教材開発

- テーマ学習のためのビデオおよびテキスト教材の開発
- インターネットによるe-Learning教育環境の整備

授業研究

- 授業実践および教員研修の実施
- 成果を学会発表
- 授業実践集作成予定(23年度中)

海外発信

- 海外(英国・中国)における授業実践
- 成果を学会発表予定